

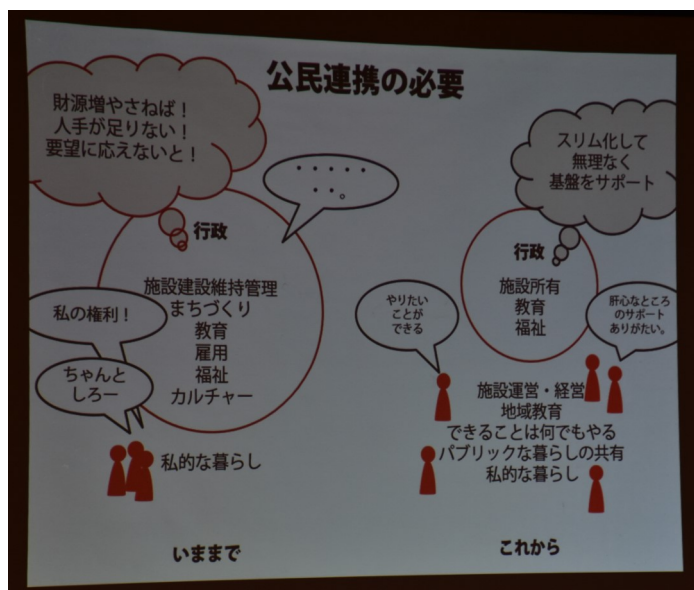
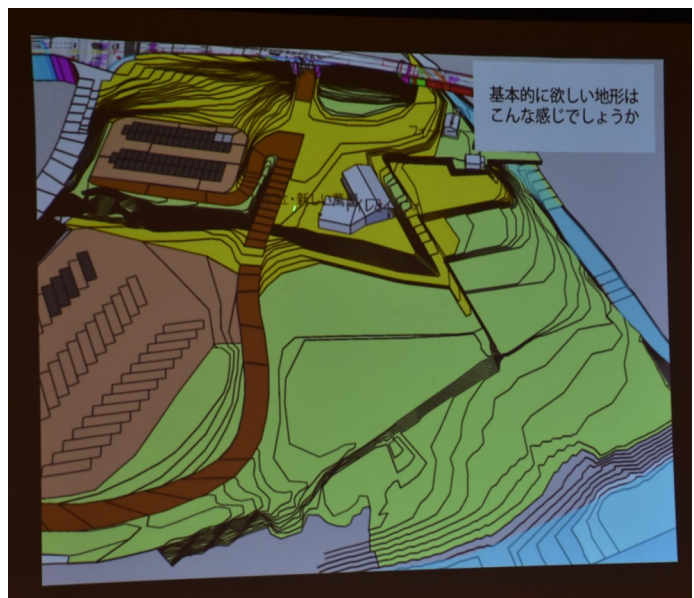
## 釜戸町道の駅

釜戸の地域活性化を目的として計画された釜戸町日の駅は、地域を結ぶプラットフォームとして様々な使い方を考えています。

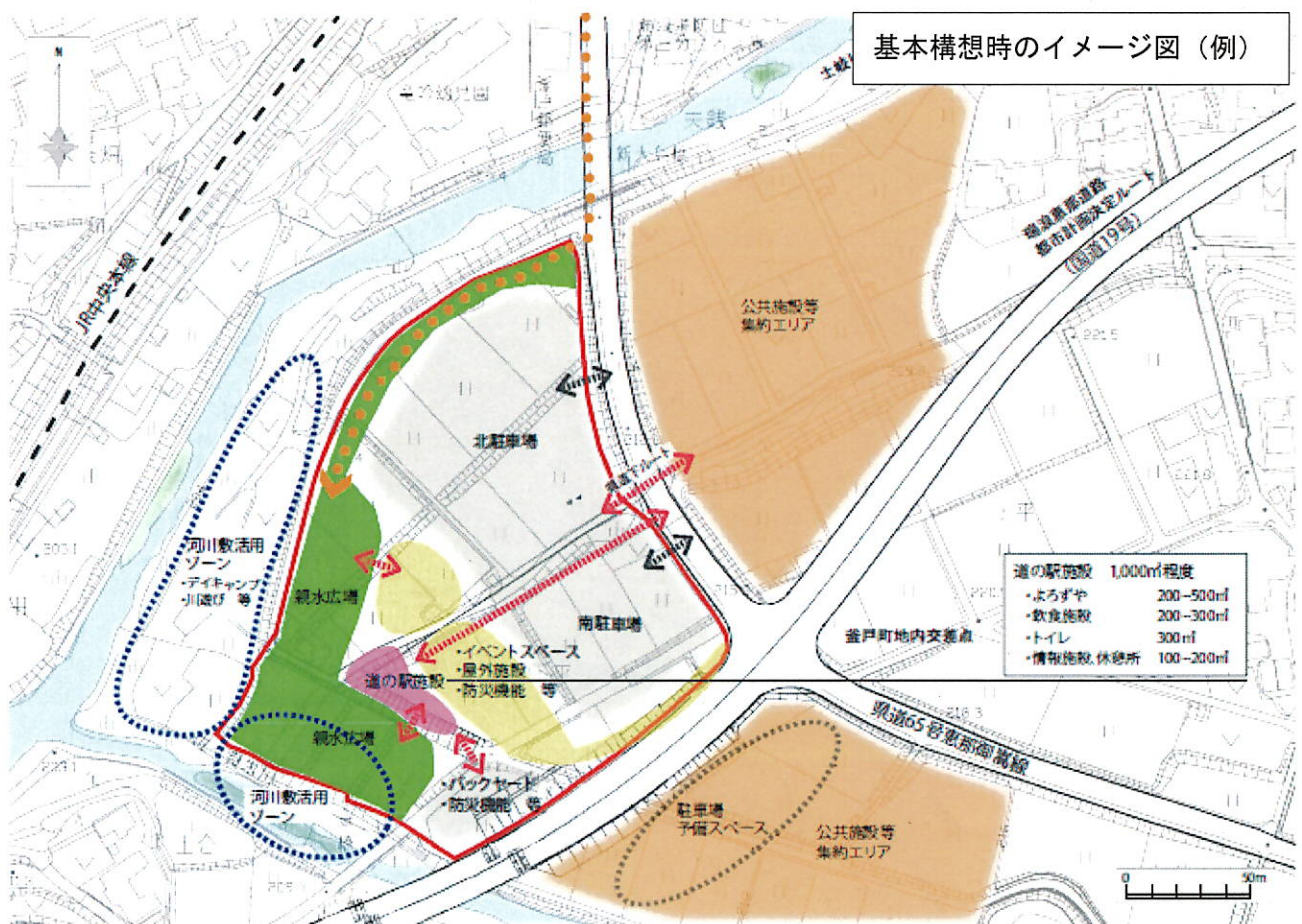
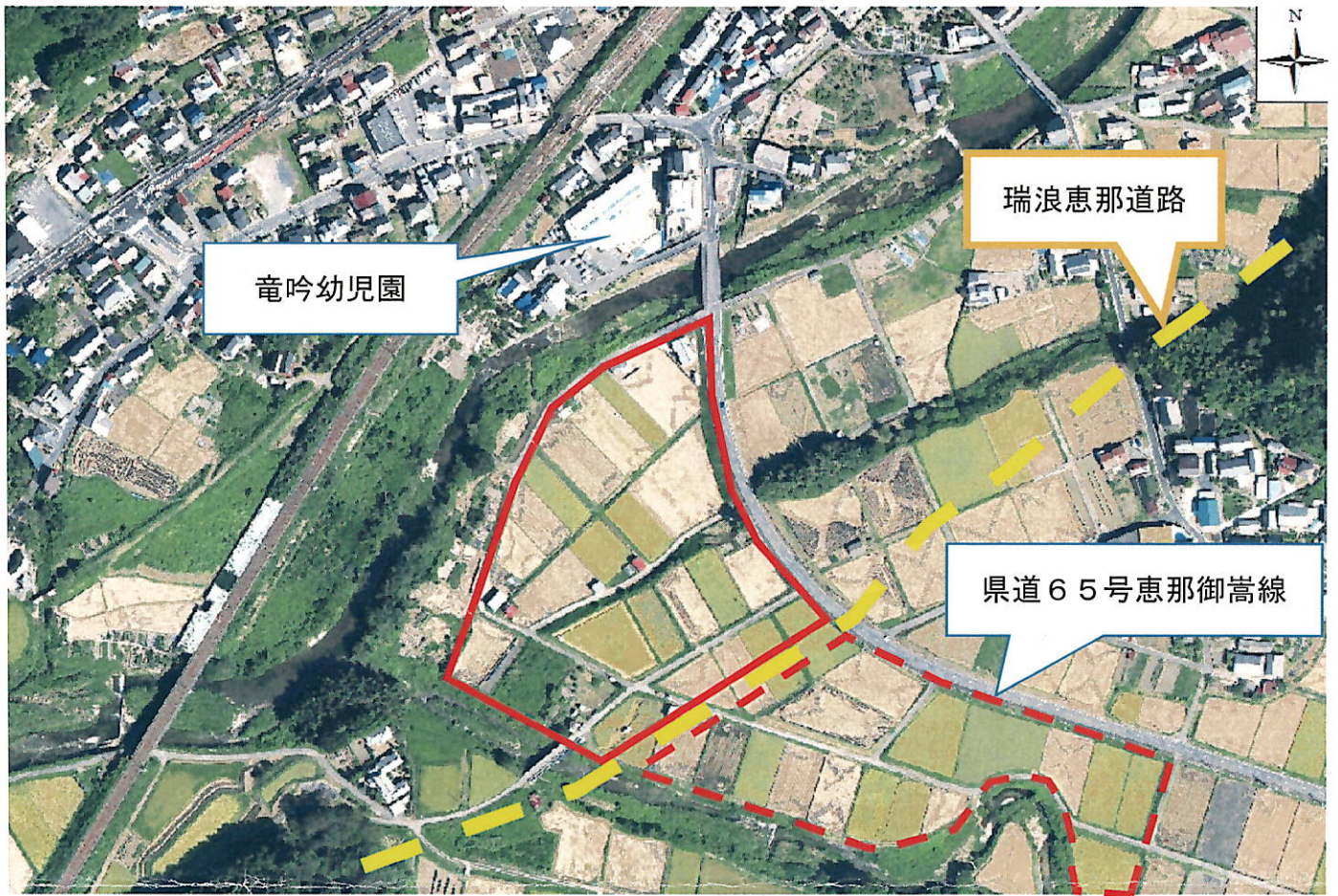
地域の商品開発や、道の駅発着を想定したウォーキングの企画など地域を支える新しいビジネス創りなどを行います。

瑞浪市は、市内初となる「道の駅」を、釜戸町上平地区内に設置しようと、計画を進めている。令和9（2027）年の開駅を目指し、「瑞浪市道の駅基本構想」を策定。本年度、令和3（2021）年度は、「瑞浪市道の駅基本計画」を完成させる予定。

出村嘉史教授は、「水辺にある公園は、世界中で愛されている。瑞浪市の道の駅の建設予定地（計画地）は、土岐川と佐々良木川が合流する水辺。道の駅を建設する際は、この河岸段丘を、できるだけ残し、うまく利用すべき。水辺には、人を寄せる要素がある。釜戸町に住んでいる人と、道の駅に立ち寄った人とが共有し、一体感がもてるような場所、包容力のある場所になれば、非常にすてき。この場所は、普通の道の駅にはない要素をつくれる可能性がある」と述べた。



【現地資料】



ゾーニング図(S=1/1500)